

科目名	創造演習 IV A	英語科目名	Creative Practice IV A
開講年度・学期	平成27年 前期	対象学科・専攻・学年	建築学科 4年
授業形態	演習	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	学習単位 (15+30) h
担当教員	永盛, 佐藤, 尾立, 中山	居室 (もしくは所属)	建築棟2F、3F
電話		E-mail	
授業の到達目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
前半は測量演習を、後半はAB2グループに分け環境実験と環境設計とを並行して行う。 前半は永盛 (非常勤講師) が、後半は佐藤 (篤) と尾立が担当する			
測量：建築工事測量に必要な器具、測設方法を理解し、測量できる。	④	B	d-2
環境実験：環境測定機器を利用し、屋内外の環境測定ができる	④	B	d-2
環境設計：自然環境に配慮した建物が提案できる	③ ④○	A A○	d-1 d-1
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
測量：試験結果を評価点とする 環境実験 環境設計：提出された図面で評価する。			
評価方法			
測量：50%内中間試験80%、実習と演習20% 環境実験：25%内 環境設計：25%内、提出された図面の内容と完成度で総合評価する。試験は行わない。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1 測量概説	測量の種類、建築測量の目的、測量の誤差と精度		2
2 距離測量	距離測量の器具の使用法・測定方法を理解		2
3 水準測量	水準測量の目的・用語、器械・器具の取扱い		2
4 トランジット測量	角度の正確な読み方や三角関数の使い方		2
5 平板測量	平板測量の目的、方法、器械器具の据付		2
6 面積・体積の測量	ヘロンの公式を含めて土地の面積や体積の計算		2
7 建築工事測量	建築工事測量の目的、使用器具、測設		2
8 中間試験			2
9 A：温熱・気象 B：課題説明	設計はエスキース	気象条件、室内温熱環境	2
10 A：採光・照明 B：即日設計	同上	昼光による採光、照明機器	2
11 A：換気量 B：即日設計	同上	CO2 減衰による換気量	2
12 B：課題説明 A：温熱・気象	同上	気象条件、室内温熱環境	2
13 B：即日設計 A：採光・照明	同上	昼光による採光、照明機器	2
14 B：即日設計 A：換気量	同上	CO2 減衰による換気量	2
15 まとめ・発表・レポート提出	同上	まとめ	2
定期試験			2
自学自習時間合計			30
キーワード	平板測量—放射法、地形図、土地面積、三斜法 パッシブソーラー		
教科書	建築[Ⅲ]建築構造・建築工学・建築設備・測量編 (財) 職業訓練教材研究会 刊		
参考書	各種建築関連雑誌		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	応用数学		
現学年の関連科目	建築設計Ⅱ、建築環境工学Ⅰ		
次年度以降の関連科目	建築施工、建築環境工学Ⅱ、卒業研究		
連絡事項			
測量：野外で実習を行うので、実習をできる服装で望むこと。また、データ整理 (計算) で関数電卓が必要です。			
シラバス作成年月日	平成27年2月28日		